



2021年2月10日

各 位

会社名 鈴 茂 器 工 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 鈴木 美奈子
(コード番号：6405 東証 JASDAQ)
問合せ先 経営企画部長 秋田 一徳
(TEL. 03-3993-1396)

業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2020年9月11日に公表いたしました2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,600	430	420	290	44.85
今回修正予想 (B)	9,160	715	710	490	75.79
増減額 (B-A)	560	285	290	200	—
増減率 (%)	6.5	66.3	69.0	69.0	—
(参考) 前期実績 (2020年3月期)	8,930	765	702	321	49.85

2. 2021年3月期通期個別業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,300	270	230	35.57
今回修正予想 (B)	7,840	560	425	65.74
増減額 (B-A)	540	290	195	—
増減率 (%)	7.4	107.4	84.8	—
(参考) 前期実績 (2020年3月期)	7,835	622	301	46.72

3. 修正の理由

2021年3月期の業績予想を算定した際の事業環境の見通しにつきましては、国内・海外市場ともに、新型コロナウイルス感染症の拡大が継続している中で、外食・小売業・食品工場における設備投資計画の見直しや企業活動の停滞による影響があるものの、事業者及び最終消費者の衛生意識の高まりやテイクアウト・デリバリーといった外食産業の構造変化に伴うセルフ化・省人化の動きが加速し、新たな需要を取り込むことで、業績は底堅く推移するものと考えておりました。

このような外食・小売業の事業環境の変化は、想定以上に加速し、外食産業におけるテイクアウト・デリバリー需要の拡大、非接触ニーズの高まりによる機械化の進展、居酒屋から定食を主とした業態への転換といった動きが、さらに広がっております。

2021年3月期通期の国内の売上高につきましては、大手回転寿司を中心としたテイクアウト用の寿司ロボットの販売の拡大、スーパーマーケットにおける寿司ロボットの入替ニーズの増加、居酒屋から業態転換を行った顧客へのご飯盛付けロボットの導入拡大により、前回予想を上回る見通しとなりました。

海外の売上高につきましては、ロックダウン等の経済活動への制限が引き続き強かったものの、北米・欧州を中心に、概ね計画通りに推移いたしました。

利益面につきましては、2021年3月期通期の売上高が前回予想を上回る見通しとなったことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い活動が制限され、販売費及び一般管理費が減少したことにより、2021年3月期通期の営業利益、経常利益、当期純利益および親会社株主に帰属する当期純利益がいずれも前回予想を上回る見通しとなりました。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

以上